

6月14日(金)

2年1組・井上先生

2時間目 数学

連立方程式の解法を考えよう

マイプロジェクト
自分の「学びたい」
「わくわく」を
大切にす

$3x + 4y = 5$...①

$4x + 5y = 6$...②

一方の文字を消去する
方法はどんな方法だろうか

xかy、どちらかを消去して、**加減法**による
連立方程式の**解法**を考え合いました。



黒板で自分の考えを書く◎説明する◎



xを消去する人は左手・yを消去する人は右手◎



自分の考えをしっかりと書く◎



友と教え合う◎
考え合う◎

すてきな
探究の時間



2つの文字のうち、一方の文字を消したい!

最小公倍数にして、係数をそろえれば消せる!

ノートにメモ!

①を4倍 ②を3倍
 $12x + 16y = 20$
 $12x + 15y = 18$

①を5倍 ②を4倍
 $15x + 20y = 25$
 $16x + 20y = 24$

あとは**加減法**を使えばできる!
解けたら、元の連立方程式に代入して成り立つことを確認!

問題の答え

$$\begin{cases} T = \varepsilon/\lambda + 9/x \\ S = \lambda + x \end{cases}$$

この連立方程式は解けるかな。ちなみに正答率は63.0% (H29全国学調)

振り返り◎発見したことが書かれています◎

2つの式に**かけ算**をして、同じ文字の**係数を最小公倍数**にすると**文字を消去**することができた。

x、yのどちらかの**最小公倍数**を見つけて**係数をそろえ**れば、x、yのどちらかが**消去**されて、計算できる。

問題 連立方程式をつくってみよう
大悟さんは自宅から5 km離れた図書館に行きます。はじめは時速6 kmで歩いていましたが、途中から時速3 kmで歩いたところ、1時間後に図書館に着きました。時速6 kmで歩いた道のりと時速3 kmで歩いた道のりは、それぞれ何kmですか。
*答えは左下。この連立方程式を解いたら、校長まで教えてください。

最小公倍数になるように係数をそろえることを**発見**。小学校5年生の**学びがここで生きる!**これからも、これまでの**学びを生かしながら工夫して学んでいって!**